

色彩教材研究会

Special Interest Group on Color Teaching

https://color-science.jp/color_teaching/labnews/

主査 吉澤 陽介 (木更津工業高等専門学校)

e-mail: yoshizawa@j.kisarazu.ac.jp

日常生活における色彩への関心からの教材制作, 実験・調査による検証を経て発展と応用に繋げる。

◆研究内容や研究会の構成

色彩教材研究会は、「日常生活における色彩への関心からの教材制作, 実験・調査による検証を経て発展と応用に繋げる。」を主眼として活動しています。コロナ禍の近年は, 色彩教材の専門家による「オンライン講座」, 色彩の現場で活躍されているスペシャリストのおしゃべりを楽しむ「Color Chat Session」, そして研究会会員の研究成果を発表する「色彩教材研究会研究発表会」を中心に活動しています。

さらに今年度は, 「研究会会員が主体的に活動し, 運営にあたっては研究会全体で協力し合い, 全員が楽しく有意義と思える研究会になること. その結果として, 色彩教材研究の成果が生まれて社会に還元することに繋がる。」ことを目指すべく今年度の幹事会を検討しました。主査は1名, 幹事を9名としました。また我々の活動をサポートする顧問は3名, 監事を1名として, 全14名の構成となります。そこに100名を超える研究会会員が加わります。

コロナ禍ということもあり, 近年は「オンライン講座」や「Color Chat Session」といった『インプット』中心のイベント企画となりましたが, 研究会員個々の, そして研究会内でチームとなって取り組んで『アウトプット』を創出できるような企画を考えながら進めています。

◆2021年度の活動報告

2021年度の色彩教材研究会における活動実績としては, 「オンライン講座(第4回・第5回)」および「色彩教材研究会研究発表会」が挙げられます。

「第4回オンライン講座(2021年9月11日)」では, 「回転混色」をテーマとして回転混色実験の意義(山根千明氏), 回転円盤の作図(永田泰弘氏), 装置製作(渡邊裕美氏), ブラウザ上でのシミュレーション(浅野晃氏), 回転混色における主観色についての考察(北島耀氏)と5件の発表がありました。

「第5回オンライン講座(2022年3月19日)」では, 立命館大学総合心理学部教授の北岡明佳先生により, 「錯視と色彩」の題目にてご講演をいただきました。

令和3年度秋の研究会旬間に開催された「色彩教材研究会研究発表会」においては6件の発表があり, 「韓国の伝統美『丹青』タンチョンの色彩に係る文献と視察調査」(園田好江氏), 「持続可能なCMF 価値創出についての考察と提案」(安岡義彦氏), 「尾形光琳作『風神雷神図』古風翻案の試み」(千田道代氏), 「ブラウザ上での回転混色のシミュレーション」(浅野晃氏), 「和紙千代紙の歴史と色と図案柄～絵師・画家たちの挑戦～」(瀧川優子氏), 「日本の美意識の多様性 – 言語文化論の視点から – 」(吉村耕治氏) という, 色彩教材研究会ならではの幅広い分野における興味深い内容でした。

2022年度 色彩教材研究会活動予定

日時・時期	企画名
2022年 11月26・27日	色彩教材研究会研究発表会 (令和4年度秋の研究会大会 内)
2022年 10月-12月	Color Chat Session #14
2023年 2月-3月	Color Chat Session #15
調整中	オンライン講座 (もしくは対面講座)
調整中	zoom 練習会を兼ねた交流会
週刊で発信	「色彩教材研究会通信」の発信
	(研究会会員からのリクエストに応じ)

◆2022年度の活動計画

前年度の活動実績を踏まえて, 今年度の活動計画を表に示します。

今年の11月26日・27日開催予定の「令和4年度秋の研究会大会」内において, 「色彩教材研究会研究発表会」を, 昨年度と同様の形式で開催を計画しております。そこで色彩教材における新しいトピックを共有できる場としたいと考えております。

また従来行ってきた「オンライン講座」「Color Chat Session」についても, 今年度も実施を予定し, 新型コロナウイルスの感染状況にもよりますが, 対面開催についても視野に入れています。

また, 昨今のオンラインでのやりとりが増えていたことを踏まえ, 「Zoom 練習会を兼ねた交流会」についても開催を予定しています。これにより Zoom に触れることの敷居を低くし, 同時に研究会会員間のコミュニケーションを促進させることを狙います。

現在, 研究会会員の希望者には, ビジネスチャットツール「Slack」を開設し, 色彩教材に関する情報共有や研究相談, 話題提供などの交流も行っております。そこでのやりとりを繰り返して, 各自のテーマについてブラッシュアップされることで, 将来的に色彩学会全国大会での研究発表, カラーデザイン発表に繋がればと期待しています。

これまでの色彩教材研究会は, どちらかというところ講演を聞くなどの「インプットして満足」というスタイルでしたが, インプットを土台にして各自のテーマを持ってブラッシュアップして『アウトプットを出して自分のテーマを確立する』に少しずつ雰囲気が変化させられればと主査として願っています。